

佳作

【工法の種類】 在来工法（方法1）

【応募者名】 本田建築設計事務所



N値計算金物（と）

ビックプレート（と）

耐震補強の手引
評価番号 A-001
構造用合板 @12
N50 釘 @150
PB9mm 下地 クロス貼



耐震補強の手引
参照の基礎補強
N値計算金物（と）



鉄筋配筋 基礎補強

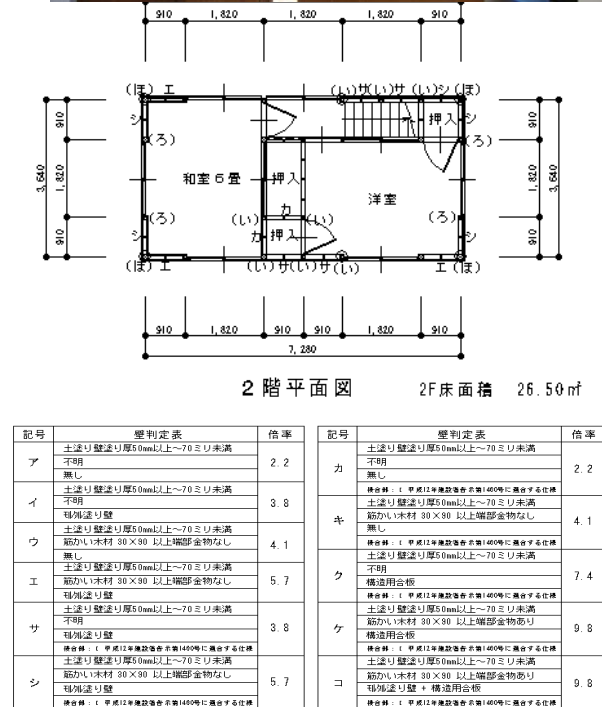
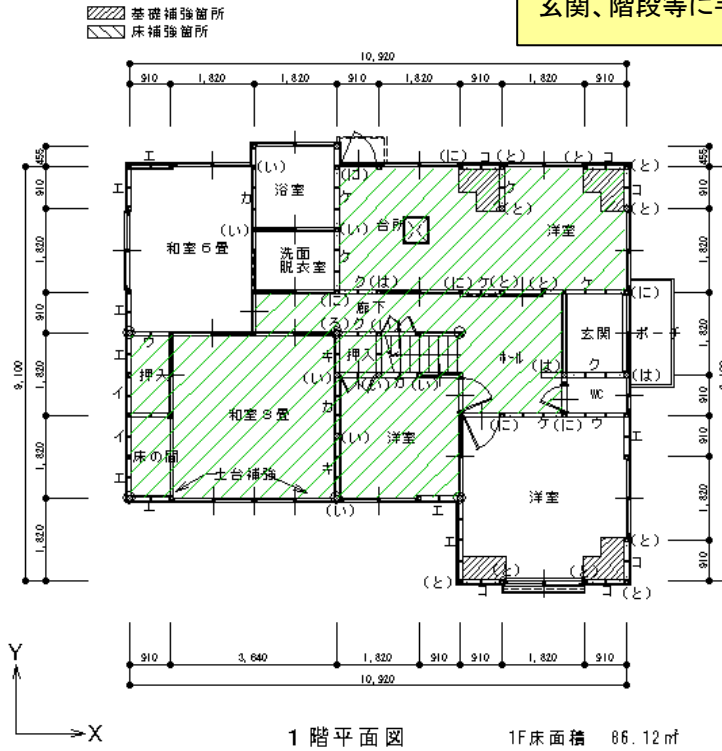


シート防水 鉄筋配筋 コンクリート打 ベタ基礎施工



2階通柱上部
N値計算金物（ほ）

キッチンセットは低めに調整
バリアフリー、シックハウスに対応
玄関、階段等に手摺設置



	判定値	X方向	Y方向	判定値	X方向	Y方向	
改修前	2 F	0.78	0.53	改修後	2 F	1.76	1.62
	1 F	0.42	0.51		1 F	1.71	1.62

改修工事費 ¥2,240,000 工期 70日

① N値計算にて接合部を平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様金物を求める。

② 精算法、偏心率計算法にて最も安価に出来る施工法を決定しました。

③ 構造用合板@12 を使用する為下地の補強材として手摺、造り付の下駄箱等施工が非常に便利です。

施工方法
愛知建築地震災害軽減システム研究協議会（耐震の手引き）の施工方法を参照した。

【講評】 昭和46年建築、延べ面積約113m²の2階建て住宅を、構造用合板、接合部金物などにより補強した事例である。上部構造の補強に加えて、建物の隅角部を中心とする基礎の補強も施された好事例である。補強後の耐震性能が各階各方向ともに1.5を上回る水準にバランス良く向上されている点をとくに評価し、佳作に選出した。